

要配慮者に優しい避難用すべり台は厚労省補助の対象です

■補助金で既設へ設置した事例

施設名：社会福祉法人 秀溪会 秀溪園
 納入設備：2階建てらせんすべり台 1台
 事業名：令和3年度 地域介護・福祉空間整備等
 施設整備交付金
 補助対象施設：社会福祉施設全般
 補助率：75～100%



バルコニーに開口部を設けて踊場とすべり台を取付ました

避難用すべり台による避難時間

■3階から地上まで連続で滑り降りた場合：約10秒で地上まで避難できました



2階の乗り込み部を通過して地上へ滑降

2階の乗り込み部に進入

3階から滑降開始

車いす対応型やアシスト装置へ乗り込む様子やすべり台で地上まで滑り降りる様子がホームページの動画でご覧いただけます。



要配慮者に優しい 避難用すべり台のご紹介

日本消防設備安全センター認定番号：たい-209-1号、たい-198-1号

開発コンセプト

- 要配慮者が地上へ素早く安全に避難できる避難器具を目指して開発を行いました。
- ・近年は火災時だけでなく、豪雨災害や台風などで避難勧告や避難指示が出される機会が増えています。
- ・国難級の三つの巨大地震で54.5万人の死者が想定されており、その大半が津波によるもので、早期避難ができれば死者の約8割が減らせると報告されています。
- 地震や災害時の避難には、停電や安全点検などでエレベータが使えないことが想定されます。
- ・避難確保計画に不可欠な避難方法や経路、避難時間などがより具体的に策定できますし、避難訓練にも使って戴けます。
- 既設のすべり台にも後付けで取付可能なタイプもありますので、気軽にお問合せ下さい。

■納入事例：既設へ後付けのらせんすべり台(3階建て)

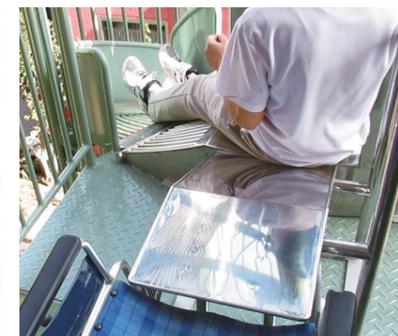
3階の最上階乗り込み部



3階からの乗り込み体験



2階からの乗り込み体験



3階から地上まで滑り降りる様子を動画でご覧戴けます。地上まで10秒程度で避難できました。



■納入事例：車いす対応型直線すべり台

乗り込み部



車いすで乗り込み部へ接近



車いすから直接滑り降ります



ハウコクホールディングスグループ

避難用すべり台 **スライダウェイ**



本社 〒734-0013 広島県広島市南区出島二丁目9-20

TEL(082)251-9173 FAX(082)255-5757

東京 〒104-0033 東京都中央区新川一丁目17-25 東茅場町有楽ビル8階

TEL(03)4333-6201 FAX(03)4333-6202

名古屋 〒451-0044 愛知県名古屋市西区菊井二丁目20-19

TEL(052)583-0191 FAX(052)583-2833

大阪 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江一丁目8-12 丸五ビル3階

TEL(06)6538-3452 FAX(06)6538-3453

福岡 〒839-0808 福岡県久留米市東合川新町11-28

TEL(0942)45-7322 FAX(0942)43-7601

仙台 〒981-0914 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町3-35

TEL(022)274-1234

ハウコクホールディングスグループ



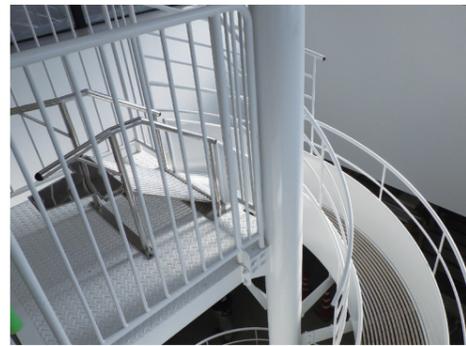
車いす対応型すべり台

火災だけでなく、豪雨災害・台風・地震など多発する自然災害時の避難にも役立ちます

納入事例



車いす対応型乗り込み部

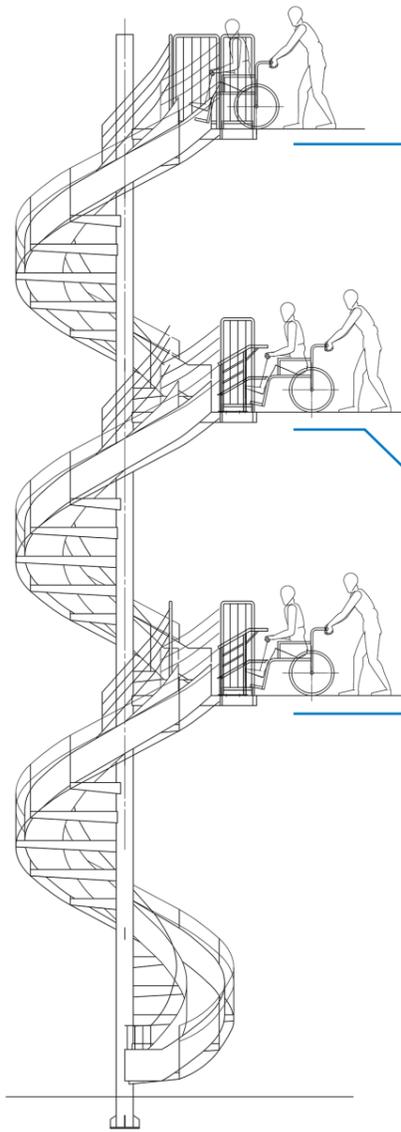


すべり面上部



すべり面下部

概要図



車いす対応型の最上階乗り込み



車いすで乗り込み部に近づきます



すべり台に足を乗せて滑ります

アシスト装置(踊場が狭い時)の最上階乗り込み



介助者の助けを借りて滑ります



乗り込み部に足を乗せます

車いす対応型の途中階乗り込み



乗り込み部へ近づきます



乗り込み部に足を乗せます



すべり面に足を向けて滑ります

車いす対応型の健常者の乗り込み



足を上げて乗り込みます

アシスト装置(踊場が狭い時)で車いすから乗り込む場合



介助者の助けを借りて滑ります



車いすで近づきます

アシスト装置の健常者の乗り込み



すべり面に足を乗せて滑り降ります



要配慮者の避難例

認知症の人は怖がって一人では乗れないケースもありますので、介助者が先導して一緒に滑り降りることもできます



寝たきりの人を毛布ごと車いすで運びます



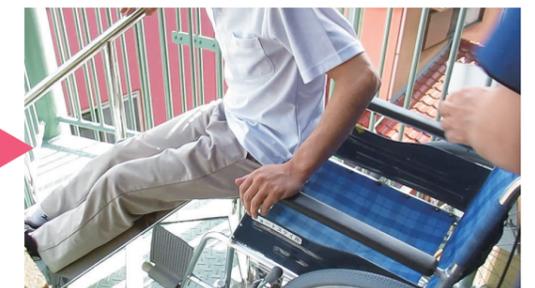
介助者が毛布ごとすべり台に乗せます



怖がらないように滑り降りします



介助者の助けで足を乗せます



乗り込み部へお尻を乗せて滑り降ります